



1 目的

本計画は、第三次環境基本計画と連動し、将来の望ましい環境像の実現に向けて、日常生活や事業活動における環境の保全・創造のために取り組むべき具体的な行動を定めるものです。

本計画の策定に当たっては、市民、事業者、民間団体及び市の4者によるパートナーシップ組織である「かわごえ環境ネット」との協働により、本市で生活している市民をはじめ、市内の事業者や民間団体に属する人など、本市に関わる一人ひとりが取り組むべき具体的な行動について、また、市民、事業者、民間団体及び市の各主体が協働して取り組むべき項目について、それぞれ定めています。

また、第三次環境基本計画と「目標年度」、「計画の対象」、「望ましい環境像」、「環境目標」を共有するとともに、「施策内容」との連動を図ることで、本市に関わるすべての人や事業者等が、「望ましい環境像」の実現に向けた取組を協働して行うことを目的としています。(資料編参照)

2 構成

本計画は、「望ましい環境像が実現したときの川越のようす」、「環境に配慮した行動(チェックシート)」、「協働で取り組むプロジェクト」の3部構成になっています。

「望ましい環境像が実現したときの川越のようす」は、第三次環境基本計画で掲げられている「望ましい環境像」を、より具体的なイメージとして示しています。

「環境に配慮した行動(チェックシート)」は、第三次環境基本計画における11の大施策(「1 地球温暖化対策の推進」、「2 循環型社会*の構築」、「3 生物多様性*の保全」、「4 貴重な緑の保全」、「5 多様な緑の創出・育成」、「6 大気環境の保全」、「7 水環境の保全」、「8 化学物質等の環境リスク対策」、「9 歴史と文化を生かした地域づくり」、「10 快適に暮らせるまちづくり」、「11 人づくり・ネットワークづくり」)に沿って分類した、各自が実施すべき40の行動を掲げています。また、チェックシートによって自身の行動の取組状況を得点で確認できるようになっています。このチェックシートの活用により、自身の行動を振り返るとともに、他の人と比較するなど、一人ひとりの環境に配慮した行動の広がりや継続的な促進が期待されます。

「協働で取り組むプロジェクト」は、10の取組を掲げています。第三次環境基本計画の目標年度(平成37年度)に向けて、市民、事業者、民間団体及び市が、協働して実施すべきことの道しるべとして活用を図っていきます。

3 推進体制

多岐にわたる現在の環境問題を解決するためには、行政だけでなく、市民、事業者及び民間団体の取組と協力が不可欠です。そこで、市民、事業者、民間団体及び行政がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ、協働して環境保全活動を行い、環境基本計画における望ましい環境像を実現していくための組織として、平成12年8月5日に「かわごえ環境ネット」が設立されました。この「かわごえ環境ネット」を中心に、市民、事業者、民間団体及び市の協働により、本計画を総合的かつ効果的に推進していきます。